

SKパネル

スライドレール式パネル土留



たて込み簡易土留工法設計施工指針適用製品

適用範囲

掘削深さ	6.0m以下を原則とする。
掘削幅	4.7m以下を原則とする。
架空線	施工時に架空線(高圧線、電話線)に対し、安全な距離が保てること。
地盤条件	①砂質土にあたっては、ボイリングの恐れのない地盤とする。 ②粘性土にあたっては、ヒービングの恐れのない地盤とする。

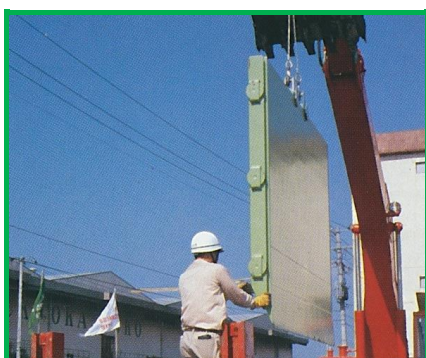


パネル・ガイドレール・サポーターで組立てられたオープンウェルをバックホーによって掘削しながら押し下げ、これを連続させて掘削溝に土留を設置して行きます。

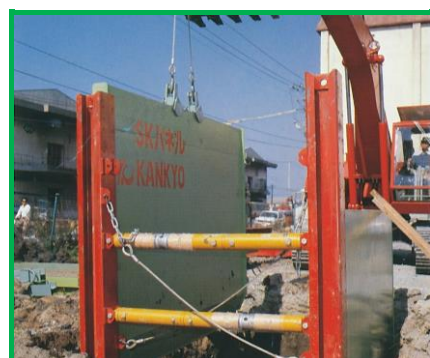
施工手順



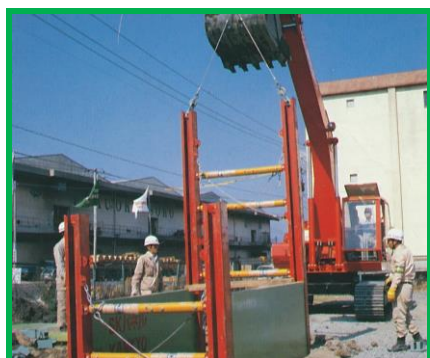
① 予め組立てたガイドレールを素掘りした溝にたて込み、レールプロテクターを取付けてバケットで押し込む。



② ガイドレールが自立したら、下部パネルをガイドレールに挿入する。



③ 同様に反対側のガイドレールにも下部パネルを挿入する。



④ 次にもう1組のガイドレールを下部パネルに挿入して第1スパンが完成。



⑤ 下部パネルにパネルプロテクターを取付けて掘削と押込みを繰り返し、上部パネルをガイドレールに挿入する。



⑥ 反対側のガイドレールにも上部パネルを挿入して掘削と押込みを繰り返す。以上の要領で逐次作業を進行する。



日本スピードショア株式会社

SKパネル

■パネル仕様

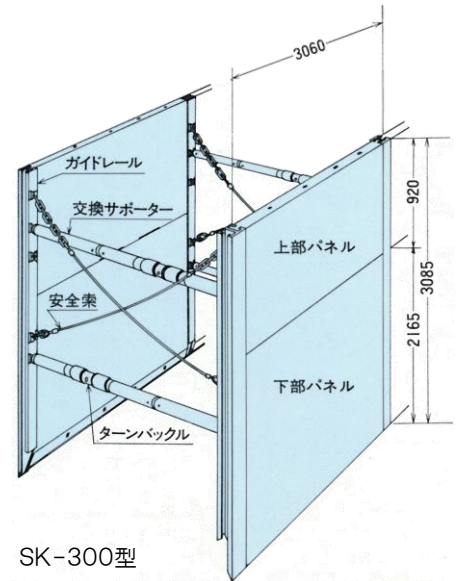
名称	型式	長さ (mm)	高さ (mm)	厚さ (mm)	質量 (kg)
下部パネル	C3.0×2.2	3,060	2,165	105	780
	3.0×2.2		2,165		656
上部パネル	3.0×1.8		1,835		517
	3.0×1.5		1,500		490
	3.0×0.92		920		300
	3.0×0.6		600		200

■ガイドレール仕様

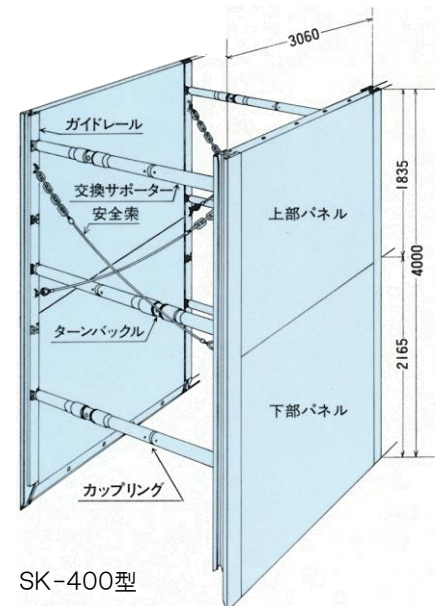
名称	型式	長さ (mm)	厚さ (mm)	質量 (kg)
シングルレール	SR-5.0	5,000	180	420
	SR-4.0	4,000		344
	SR-3.0	3,000		240
	SR-2.5	2,500		180
ダブルレール	WR-5.0	5,000	355	725
	WR-1.0	1,000		165

■切りばり仕様

名称	型式	長さ (mm)	質量 (kg)
ターンバックル	TB	900~1,200	52.0
	TB-MC	700~850	40.0
交換サポーター	CS-A	460	10.4
	CS-B	860	19.5
	CS-C	1,260	36.0
	CS-D	1,760	50.0
	CS-E	2,260	62.0
	CS-F	2,760	71.0
カップリング	CR-S	20	11.8
	CR-L	200	24.4
	CR-OM	240	13.0



SK-300型



SK-400型

■施工上のご注意

1. 施工時は、労働安全衛生規則・通達を厳守して下さい。
2. 組立ては、必ず安定した平坦地で行い、特に風による転倒にご注意下さい。
3. 押込み前の先掘は、50cm以下の背面土砂が崩落しない深さで施工して下さい。
4. 押込みは左右均等に行い、切りばりの水平角度が5度以上傾かないように施工して下さい。
5. 埋戻し時は、最下段の切りばりが埋まらないように施工して下さい。
6. 覆工が必要な場合は、H鋼等のまくら材を使用し、直接土留材に荷重をかけないで下さい。
7. 製品の強度及びご不明な点がございましたら、取扱店までお問い合わせ下さい。

記載されている内容は、製品改良のため予告なしに変更する場合があります。



日本スピードショア株式会社
 本社・研修所 / 〒575-0013 大阪府四條畷市田原台8-2-5
 TEL. 0743-78-9000 FAX. 0743-78-8738
<http://speedshore.co.jp/>

取扱店